

町制50年式典(1月10日)を

# 「自立運営」の心構えと勇気湧くつといに

## 「当面自立」宣言の意義

合併挫折後をはじめ、町民が注目する町長の「所信表明」との意味合いも強いことから、西澤議員は12月議会・面談などで「1月10日の町政50周年記念式典は、合併論議に一区切りをつけて、次のステップを踏み出す緊張感あふれたつといになるのか、今までどおり、のんびんだらりとした、どこかの市や町に寄りかかる、しまりのないつといになるのか分かれ目となる」と提起しました。

公債費負担率(借金返済の元利の一般財源総額に対する割合)の大きい順

(県資料より)

余呉 24.7、びわ 22.9、朽木 22.0、草津 20.3、木之本 20.1、多賀 19.8、伊吹 19.7、甲良 19.2、虎姫 18.9、甲賀 18.8、今津 18.2、甲西 18.1(いずれも%)  
市 部平均 16.8%、  
町村部平均 14.9%、  
都市部の借金が会計をより圧迫しているのがよくわかります。

財政力指数(1に近いほど財政豊かといわれる)

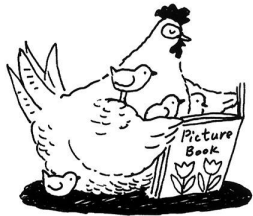
・平成13年から15年の平均値

自立を決めた浅井町 0.341、  
甲良町 0.393、虎姫 0.343、  
湖北町 0.410、高月 0.692、  
木ノ本 0.331、余呉 0.174、  
西浅井 0.257。

甲良町は「とにかくやっつけられない」ところではない。まだまだ改善余地がある。今までの不用な支出の見直しを徹底して行うことが大事。

西澤議員は12月議会の本会議、予算研究会、総務常任委員会で、左表の公債費負担率や財政力指数を紹介し「特別に悪い」位置にいるわけではなく、公債費負担率では、県内で高い順で8番目で、財政力指数では自立を選択した浅井町よりも少し高くなっていると指摘。

一般質問では、努力・実行している小さな自治体に学んで、助役・収入役を置かない、教育長は非常勤、多すぎる印刷費、同和对策関連予算など、収入、支出の両面から見直すことを提案しました。



## 甲良民報

2005年1月1日 No.270  
発行責任：日本共産党甲良町支部  
代表：西澤伸明 甲良町在土 463  
Tel.Fax38-4949  
Eメール [info@jcp-nobuaki.com](mailto:info@jcp-nobuaki.com)  
のぶあきホームページ  
<http://www.jcp-nobuaki.com/>

(12月議会を終えて・・・続き)  
「合併断念」問題では一般質問で3人の議員がとりあげました。中には、意向調査が判明した後も、自らも中島市長に「合併の決断」を迫っておきながら、「断念表明があまりにも遅すぎた」(要旨)など無反省な質問もあり、根拠と理由を示して「自立」を説く質問は西澤の他にありませんでした。町長が数年間は単独運営の見通しと言及した閉会あいさつに注目しています。

「三位一体の改革」は地方を苦しめる本質が見えはじめていますが、私モテーマの一つに取り上げ、総務常任委員会でとりあげました。これは記録が入り次第、くわしくお知らせしたいと思います。

平成15年度一般会計と特別会計の決算認定をめぐっては、この議会の主要議題でした。後の機会に取り上げたテーマ別に紹介します。当局が提出した「決算概要」で5つの主要施策を展開した、と項目をあげながら、その成果と教訓・反省点が全く述べられていない施策について、私は資料提出と説明を求めました。

不正取水、いわゆる「盗水」の監査結果が11月22日に示され、その直後の議会で、当局の反省が注目されましたが、町長・当局から進んで詫言るなり、見解を述べることはありませんでした。当然のびしい監査結果を受け、全世帯一斉点検など毅然とした対応が求められます。

議会運営では一歩改善がはかられました。それは、一般質問通告の締め切りが、決算研究会の翌日でしたので、決算も含め議案に関連するテーマ設定が可能になったことです。以前は議案が配布される前に締め切られていたのです。

みなさまのご意見・ご要望などお気軽にお寄せくださればうれしく思います。